

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました



流水調整課

H28.06.02

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立砂山小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課の3名が対応しました。

おおらかな雰囲気の方でしたが、説明のクイズや質問にはとても積極的で、多くの方が手を挙げて回答してくれました。

また、説明途中では一生懸命メモをとる姿が見られました。

かなり蒸し暑い午後でしたが、館内外の見学中でもたくさんの素晴らしい質問をいただきました。観察室では残念ながら魚は現れてくれませんでした。先生方からも「子供たちはすごく喜んでいきます。楽しく見学できて、よかったです」との言葉をいただきました。

団体見学概要

日 時： 平成28年6月1日(木)13:00～14:30

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：78名(生徒74名、先生4名)

団体名： 和歌山市立砂山小学校4年生

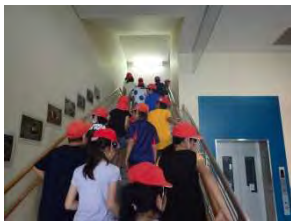
1. 紀の川大堰概要説明

職員がスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組みや役割などを説明しました。

スライドに書いていることを一生懸命メモにとり、たくさんの皆さんが手を挙げて発表してくれ、充実した時間となりました。



2.館内の見学



2階操作室内で仕事
をしているおじさん
に興味津々。



やっほー！2組さーん！

おーい！1組さーん！



3階展望デッキにて。「あ
の大きなゲートは493ト
ンもあるんだよね!」「僕
たちが16000人集まった
重さだよね!」と嬉しそう
に答えてくれました。スラ
イドの説明をきちんと覚え
てくれています。

3.館外の魚道見学



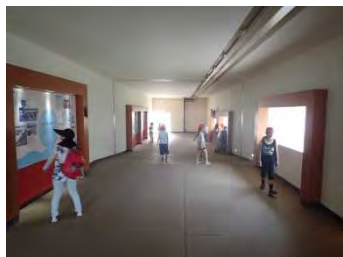
魚道観察室に出発～



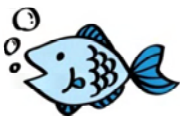
まずは、人工河川式魚道や
階段式魚道を上からのぞい
てみました。



いよいよ魚道観察室へ～



魚道観察室では、階段式魚道を横
から見るすることができます。



質問

Q1.主ゲートを上まで引き上げるのに44分かかってしまうと、たくさんの水が流れてきたときに間に合わなくて、洪水になってしまいませんか？

A1.大丈夫ですよ。2階の操作室にあるコンピューターを見ると、これくらいの時間にこれくらいの量の水が流れてきますよ、ということが分かるので、間に合うように事前に準備できるようになっています。

Q2.魚たちは、どうして魚道の入り口がわかるの？

A2.魚たちに入り口を知らせるために「呼び水ゲート」と呼ばれるゲートを作っています。そこは常に水を流していて、水の流れを感じた魚たちは自然に魚道の入り口を見つけるのです。

